

主な記事

2～3面 令和4年2月定例会の概要  
4面 令和4年4月臨時会の概要  
議会活動の紹介  
県議会からのお知らせ

# わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

今号の注目ワード

最南端から最先端へ

本州最南端の町、串本町に建設された日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」。本年末に予定される初号機「カイロス」の打ち上げを応援しよう！



スペースワン社 提供

## 新しい世界で飛躍する和歌山

## 飛躍を支える基盤づくり

予算特別委員会での、主な質疑は次のとおりです。（要約）

令和4年度  
当初予算を  
可決

一般会計当初予算額  
**6,044億円**

予算特別委員会  
質問委員(8人)

3月11日(金)

新島 雄 玄素 彰人  
濱口 太史 杉山 俊雄

3月14日(月)

長坂 隆司 北山 慎一  
林 隆一 吉井 和視

**問** 「和歌山県宇宙教育検討会議」の内容等について

**答** 串本古座高等学校の宇宙探究コースの新設は、これまでに例のない、新しい高等学校教育をつくっていくこととなります。

その支援のために、令和4年度、産官学の知恵を結集した「和歌山県宇宙教育検討会議」を組織することにしています。

当検討会議では、専門的な知見を有する方々に活発に議論していただき、宇宙に関する科目の内容や、教材開発、指導計画等について、有意義な助言や提案をいただきたいと考えています。

**問** 樫山ダムの浚渫と減勢池における崩壊対策について

**答** 樫山ダムの浚渫については、令和4年度以降、緊急浚渫推進事業債を活用する予定です。

また、倒壊した減勢池擁壁の復旧については、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算など国の補助制度を活用し、放流水の勢いを安全に低減させる減勢池として機能を回復させるよう、工事を進めています。

**問** 南紀熊野ジオパーク探偵団について

**答** ジオパーク探偵団は、南紀熊野ジオパークをフィールドとして、現地調査を実施、専門家の助言を受けながら、自ら分析や研究を行い、その成果発表まで導く教育プログラムです。

令和4年度の取組としては、本年度実施した「海洋環境を考える」というテーマについて、引き続き、探究活動を継続していきます。南紀熊野ジオパークには、豊かな自然、多様な生態系、歴史文化や温泉など、子供たちが調査活動を行うフィールドとしてふさわしいエリアが多数存在することから、適切なテーマを追加し、自ら考え、行動できる団員を1人でも多く育てていきます。

**問** 県内での小麦の栽培支援について

**答** 小麦の収益は米の4分の1程度であるため、全国では基盤整備されたほ場で、大型作業機械を用いて効率的な栽培を行うことで低コスト生産を実現し、契約栽培により収益を確保しています。

平坦地が少ない本県での小麦栽培は、収益性の高い農業経営が望めませんが、本県が進める収益性の高い品目との複合経営として、各農家の判断により小麦栽培に取り組むことは可能と考えます。

**問** 今後の本県の観光戦略について

**答** 「わかやまリフレッシュプラン」などの需要喚起対策を講じつつ、自然やアウトドア、歴史・文化、食などにおいて多様化する観光客のニーズにきめ細かく対応できるように、テーマ別の観光プロモーションに取り組んでいます。

さらに、今後は、コロナ禍からの反転攻勢を目指し、デジタル化の推進やインバウンド受入環境整備、交通アクセスの利便性向上などに取り組み、相互交流も含め積極的なプロモーション活動を展開していきます。

**問** 子育て支援について

**答** 紀州っ子いっぱいサポート事業による保育料無償化や在宅育児支援事業により、近年第3子以降の出生割合は増加傾向にあり、効果が表れているところです。

少子化に歯止めをかけるためには、乳幼児を育てる世帯への経済的支援だけでなく、結婚から、妊娠・出産・子育てまでを切れ目なく多面的に支援していくことが重要です。

令和4年度新政策として、3子以上世帯に向けた奨学金等の所得制限緩和や保育士の人材定着

事業など、様々な子育て関連施策を着実に進めていきます。

**問** 県立医科大学薬学部設置に伴う県内就職の促進について

**答** 県立医科大学薬学部設置を契機として、新産業創出による県内産業の活性化と卒業生の県内就職を見据え、県内企業はもとより、誘致企業に対しても薬学部とのマッチングを行っているところです。

医薬、化学系企業をはじめ、あらゆる業種の製造業の誘致に全力をあげて取り組んでいます。また、県内の医薬、化学系企業に対しても薬学部卒業生の就職につながる取組を進めています。

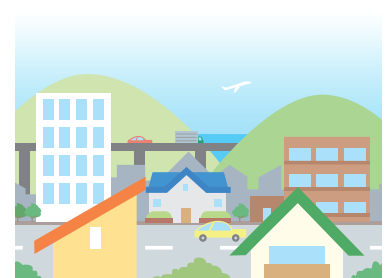
**問** I-R区域整備計画について

**答** 昨年11月19日のI-R対策特別委員会において、「I-Rに関する公聴会及びパブリックコメントは、事業主体等の運営体制と資金計画を本特別委員会においてつまびらかにした上で実施すること」という御指摘を受けました。

その後、具体的になった資金計画が提出されたため、2月7日にI-R対策特別委員会において、区域整備計画(案)をお示ししましたが、「資金計画等の内容は不透

明な部分が多く、本委員会として納得できるものではない」との談話が出されたことはよく承知しています。今後県議会の指導を仰ぎながら国に認定申請したいと思えます。

予算特別委員会の様子



# 2月定例会の概要

会期 2月22日～3月18日の25日間

## 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催  
(行政改革基本計画等に関する特別委員会)…3月9日  
(I-R対策特別委員会)…3月17日

質問議員 18人

3月4日(金)	
藤山 将材	奥村 規子
3月7日(月)	
秋月 史成	佐藤 武治
多田 純一	鈴木 徳久
藤本眞利子	山田 正彦
高田 由一	浦口 高典
3月9日(水)	
中西 峰雄	中 拓哉
堀 龍雄	谷口 和樹
玉木 久登	中西 徹
片桐 章浩	井出 益弘
3月8日(火)	
3月10日(木)	

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	34件	令和4年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件( // )	27件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例等	可決
その他案件( // )	13件	令和4年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告( // )	2件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算	承認
意見書・決議	6件	ロシアによるウクライナ侵略について抗議する決議 高齢者の雇用を促進するための環境整備を求める意見書 国民の祝日「海の日の」7月20日への固定化を求める意見書 介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化等を求める意見書 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書 衆議院議員選挙制度における格差是正方式の見直しを求める決議	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### 令和4年度新政策

**問** 新政策の基本的な考え方と意気込みについて伺う。

**答** 令和4年度は二つの政策を柱として、新たな施策を展開します。一つ目の柱は「新しい世界で飛躍する和歌山」であり、あらゆる分野におけるDXの推進や新しい産業の創出に取り組みとともに、移住促進、企業誘致を加速させます。

二つ目の柱は「飛躍を支える基盤づくり」であり、保健医療行政の強化、地域医療・福祉の充実、防災・減災対策の推進、和歌山の未来を切り拓く人材育成等に取り組むとともに、発展の基盤となる道路ネットワーク等の整備を引き続き進めていきます。

この難局を乗り越え、ポストコロナの新しい世界に挑み、和歌山を力強く飛躍させるため、全力で取り組んでいきます。

### 「新しい資本主義」を踏まえた成長戦略

**問** 「新しい資本主義」を踏まえた本県の成長戦略について、知事の所見を伺う。

**答** 「成長と分配の好循環を実現すること」国において、あらゆる産業におけるデジタル化や起業支援の拡充等により県内産業の支援を図ります。また、I-R誘致や宇宙関連産業、ICT企業の誘致・集積などにより新産業を育成していきます。さらに、ピ

ビジネス環境や生活環境の強みを生かし、本県への企業誘致や、製造業の国内回帰を促した工場誘致など、本県に投資を促す政策を積極的に進めていきます。また、少子化対策や社会的弱者への政策の充実も図っていきます。

### 和歌山型衛星プロジェクト構想

**問** 本県でも宇宙関連産業育成のため、「和歌山型衛星プロジェクト」を立ち上げてはどうか。

**答** 県主導の衛星プロジェクトにつきましては、ニーズや採算性を考慮し、自前で衛星を持つべきかを研究する必要があると見られます。

県としては、初号機の打上げを機に、今後の計画も踏まえ、宇宙関連産業の企業誘致や県内企業の参入促進等、地元経済の好循環を生み出す取組を実施します。

### I-R誘致

**問** I-Rの資金調達に関わるクレディ・スイスによる不正預金問題の調査報道を受け、経営状況や資金調達への影響をどう考えるか。

**答** 報道によりますと、問題とされた口座の90%は既に閉鎖または閉鎖手続に入っており、残りもチェックしたと記載されています。

報道以降も、業務活動や銀行免許等に影響を与えたなどの事実はなく、和歌山I-Rへの影響も、現時点では特段ないものと考えます。

### 和歌山県の価値向上に向けた取組

**問** 新政策として「変化する世界への挑戦」を掲げている中で、和歌山県の価値向上の取組について伺う。

**答** 産業のデジタル化等により県内産業を強化し、また、I-Rや宇宙関連企業・ICT企業の誘致、集積等により新産業を育成することが大事です。

今後も、成長を促す投資に結びつくような政策を進めるとともに、成長と分配の好循環が生まれるように、全力で取り組んでいきます。

### 考古民俗博物館新館建設

**問** 紀伊風土記の丘資料館の再編整備の意義と目指す姿はどのようなものか。

**答** 施設の老朽化等の課題を抱えていることから、貴重な文化財を活用し後世に引き継ぐため、資料館の再編を県長期総合計画に位置づけています。古墳文化や考古学・民俗学の県内拠点として再編整備し、世界に向けた発信力のある博物館にしていきます。

### 県立自然博物館の新館建設

**問** 県立自然博物館の新館建設における今後のスケジュールについて伺う。

**答** 新館建設にかかる基本計画策定のための令和4年度予算を今議会に計上、基本計画策定後は、令和10年度の開館を目指し、新館建設計画を進めていきます。

新館については、収蔵庫を拡充し、多数の貴重な所蔵品を最適に保存するとともに、所蔵品の価値を効果的に展示する機能を充実させていきます。

### 県立図書館の充実

**問** 県立図書館の将来像をどう考えているか。

**答** 読書文化の振興を図るため、蔵書を今後とも一層充実させ、ITを活用したサービスや貴重資料のデータベースを公開することにより、利便性の向上も図っていきます。

さらに、市町村立図書館と連携し、全ての県民がより身近に活用することができるような図書館を目指していきます。

### 次世代医療研究センターの活用

**問** 新産業創出のため、県立医科大学次世代医療研究センターをどう活用するのか。

**答** 令和3年4月、県立医科大学に設置された次世代医療研究センターでは、医療系総合大学の強みを生かし、がんや精神疾患などの創薬等について、医学的な観点から研究を推進することが可能となり、このような特徴を生かし、民間企業等を支援する取組が重要になると考えています。

県としては、産官学の連携により、新産業の創出等につなげていきたいと考えています。

### 光ファイバの整備状況等

**問** 県内の光ファイバ整備率と田辺市龍神村の通信状況は、どうなっているのか。

**答** 県内住居地の光ファイバ整備率は99.9%(令和4年2月現在)であり、残りについては民間事業者を整備を促していきます。

また、田辺市龍神村の通信状況は、一時的に通信速度に問題はありましたが、現在は一般的な利用に十分な水準まで改善しています。今後は、通信機器の更新も予定されており、更なる改善が図れると聞いています。

### 児童相談所の体制強化

**問** 一時保護所職員逮捕を受け、どのような検証と対策を行ったのか。

**答** 今回の事件が起こった原因は、当該職員が一時保護

所職員として当然持ち合わせるべき倫理観に欠けていた点と、夜間の職員配置が十分でなかった点が挙げられます。

事件後すぐに、職員に対しマニュアルや職員服務規程の遵守を徹底するとともに、夜間の見守り体制を改善したところです。

### 普通教育と情操教育

**問** 普通教育と情操教育について、どう考えているのか。

**答** 普通教育と情操教育は、生きる力を育成していく上で重要な教育と捉えており、様々な教育を含め、調和的に充実させていくことが学校教育に求められています。

学力や体力をしっかりと身に付けるとともに、自律性、協調性に加えて、思いやる心や感動する心を育むことが重要だと考え、道徳教育や情操教育の充実に向け、今後も取り組んでいきます。

### 中学校における休日の部活動

**問** 休日の部活動の段階的な総合型地域スポーツクラブ等への移行について伺う。

**答** 休日の部活動の地域移行については、段階的に行っていきます。

現在、地域人材の確保や費用負担の在り方等の課題を解決するため、実践研究に取り組んでいます。

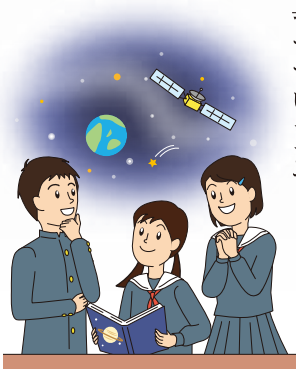
これにより、専門の指導者による高い技術指導の提供など一定の成果を得ることができましたが、一方で、平日と休日で指導者が変わることによる指導方針の違いなど新たな課題も見つけることができました。

### 宇宙探究コースの新設

**問** 串本古座高等学校に新設する宇宙探究コースへの思いや今後の展望をどう考えているのか。

**答** 宇宙探究コースでは、科  
学に少しでも興味を持って伸びていく生徒が出てきて、この地域で優秀な人材が育ち、その人材がまたこの地域で働くような好循環を生み出してほしいと考えます。

「全国の宇宙少年よ、来たれ」という思いで、本県が率先して宇宙への思いを持つ子供たちを育てていきます。



### 若者の消費者被害防止

**問** 成年年齢の18歳への引き下げに伴い、若者の消費者被害防止にどう取り組むか。

**答** 様々な広告媒体を通じて、若者が消費者被害に遭わな

いように注意を促すとともに、学校における消費者教育にも力を入れてきました。

令和3年12月には、消費者ト  
ラブルへの備えや相談窓口などを紹介する特設サイトを新たに開設しました。このサイトにつながるQRコードを掲載した広報チラシの配布やSNSへのWEB広告の配信など、より効果的な啓発に取り組んでいます。

### 金融教育

**問** 教員の金融知識や意識の不足が推測され、学校教育の場で金融教育はほとんど行われていないという認識であるが、どうか。

**答** 担当教員は、教員セミナーや金融教育研究校の授業研究を活用するなど、様々な機会を捉えて指導力の向上に努めています。

また、クレジットカードやローン、金融商品等について、今日的な課題の学習の充実に努めています。今後は、専門家による特別講座などにも取り組んでいきます。

### 新型コロナウイルス感染症治療薬

**問** オミクロン株の治療に使用されている中和抗体薬と経口薬の供給体制等について伺う。

**答** これらの治療薬については、通常の医薬品購入とは

異なる登録手続きが必要となることから、診療を行う病院等に  
対し、発症初期に投与できるよ  
う積極的な登録を促してきま  
した。

令和4年3月現在、いずれの  
品目も供給が滞っていないこと  
から、登録病院等において医師  
が必要と判断した患者には供給  
ができていないものと認識して  
います。

### ENEOS和歌山製油所の製油所機能停止発表

**問** ENEOS(株)和歌山製油所の製油所機能停止の決定が発表されたが、地域経済に甚大な影響を及ぼすことは明白であり、これまでの経緯と今後に関する見解を伺う。

**答** ENEOS和歌山製油所の製油所機能停止発表について、次の展望を示さずには停止することは遺憾であり、下請けも含めた地域雇用を守る取組を示すよう強く要望しました。

2月25日には、県や有田市、海南市に加えて経済産業省が参加した「和歌山製油所エリアの今後の在り方に関する検討会」が発足しました。

県としては、ENEOSが考える新事業の展開が和歌山で実現し、下請けも含めた地元雇用が守られるよう議論を進めていきます。

# Information

## 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

### テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

#### 県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送  
(6月定例会の放送 6 / 3、10、13~15、21)

#### 県議会手話だより(予定)

閉会日の約2週間後に、22時から30分間放送  
(6月定例会の放送 7 / 5)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

#### 県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(6月定例会の放送 6 / 3、10、13~15、21)

### 県議会ホームページ

● 県議会の仕組みや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>

和歌山県議会

### 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 令和4年6月定例会 会期日程(予定)

本会議	6月2日(木)・3日(金)
本会議(質問)	6月10日(金)・13日(月)~15日(水)
常任委員会	6月16日(木)・17日(金)
本会議	6月20日(月)・21日(火)

※この日程は予定ですので変更されることがあります。  
※要約筆記をご希望の方は、事前に県議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 令和4年度定例会 年間日程(予定)

6月定例会	6月2日(木)から6月21日(火)まで
9月定例会	9月8日(木)から9月28日(水)まで
12月定例会	12月2日(金)から12月20日(火)まで
2月定例会	2月13日(月)から3月7日(火)まで

### 「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

## 議案等の議決結果

# 4月臨時会の概要

項目	件数	概要	結果
専決処分報告	2件	和歌山県税条例等に関する条例等	承認
その他案件(知事提出)	1件	特定複合観光施設区域の整備に関する計画の認定申請について	否決

### 4月臨時会 質問議員(6人)

山田 正彦・川畑 哲哉・山家 敏宏  
奥村 規子・高田 由一・林 隆一

特定複合観光施設(IR)区域の整備に関する計画の認定申請等を審議するため、4月14日から4月20日までの日程で、臨時会を開催しました。

14日の開会日には、知事から議案等の提案説明があり、18日には、6人の議員により、資金計画や事業継続性、知事の意気込みなどについて質疑が行われました。

その後、IRに関する議案は、IR対策特別委員会に付託され、午後に開催された委員会では、総務委員会と経済警察委員会に対し、両委員会の所管事項に関する調査依頼が行われました。

また、同日に開催された両委員会での審査の結果、調査事項に関しては、いずれも意見を付して、賛成多数で適当と認められました。

これを受け、19日に開催されたIR対策特別委員会では、県当局のほか、参考人からも資金計画等について聴取し、審査が行われ、議案については賛成少数をもって、否決すべきものと決しました。

20日に行われた本会議では、委員長報告、討論の後、採決が投票によって行われ、反対多数をもって、議案は否決となりました。



IR対策特別委員会の様子

## 議会活動の紹介

### 関西広域連合議会3月定例会

3月5日(土)、関西広域連合議会3月定例会が大阪府立国際会議場(大阪市)で開催され、一般質問に井出益弘議員が登壇し、広域交通インフラについて質問しました。質問では、まず鉄道インフラについて、大阪・関西万博に関連した整備促進と、北陸新幹線やリニア中央新幹線など高速鉄道網への対応を含めた関西広域連合の中長期的な展望について聞いたほか、南海トラフ地震などの危機に対する国土のリダンダンシーの確保や関西圏域の経済発展のためには、和歌山と淡路島を結ぶ紀淡海峡ルートを含む太平洋新国土軸の早期形成が必要ではないかとたずねました。

質問に対し、仁坂吉伸関西広域連合長(和歌山県知事)は、鉄道インフラの整備について、大阪・関西万博に関連した整備促進への期待や、北陸新幹線の早期開業に向け、国に対する要望活動や、リニア中央新幹線の全線開業時期の8年前倒しが確実なものになるよう働きかけを行っているとの答弁がありました。さらに、太平洋新国土軸をはじめとする国土の多軸化が重要であるとの認識とともに、関西広域連合において今後とも紀淡海峡ルートを含む太平洋新国土軸の早期形成に向けて、機運醸成を図りながら国等へ力強く働きかけるなどしていききたいとの答弁がありました。



井出 益弘 議員